

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	キャリアデザイン2	
科目基礎情報							
開設学科	グラフィックデザイン科		コース名	全		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	参考資料等は、授業中に配布する。						
担当教員情報							
担当教員	山本佳子			実務経験の有無・職種	有・デザイナー		
学習目的							
卒業後の就職へ向けて、デザイン業界のしくみ、デザイナーの職能を学ぶ授業。様々な事例から自分の将来像が見えるようになるようにしていき、学生個々の自己分析を通じて、希望分野への就職を目指すことが目的である。							
到達目標							
講義を通じて働くことの大切さとデザイン業界の社会的な役割、いろいろな職種について学ぶ。各自の適性を考え、希望職種につくために自己分析を行い自分の将来像が見えるようになることが目標である。							
教育方法等							
授業概要	授業では教員の講義を聴講すると共に、テーマに沿った内容について理解を深めていく。講義を通じて働くことの大切さと会社の仕組み、就職活動のプロセスについて学びます。						
注意点	必要な資料はその都度用意して配布していく。聴講内容に関してしっかりと記録すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・レポート	60%	レポート・試験・課題を総合的に評価する				
	ワーク	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	オリエンテーション		授業の目的と必要性について理解する				
2回	デザイン業界の概要		デザイン業界の成立ちと現状				
3回	授業目的の明確化		デザイン業界の仕組み、デザイン職の種類				
4回	デザイン職の理解		デザイナーとクライアント、生産者の視点				
5回	デザイン業界1		業界の話題紹介、インターンシップ概要				
6回	デザイン業界2		業界の職種についてのガイダンス				
7回	デザイン業界3		業界の職種についてのガイダンス				
8回	デザイナーの職能		デザイナーの様々な業務内容とスキルについて				
9回	デザイン職の適性		適性分析の手法、職業分類				
10回	自己分析1		解説 性格や能力、価値観などを理解する方法				
11回	自己分析2		過去の自分を分析する（自分史を作る）				
12回	自己分析3		適性の見つけ方、適性分析の演習				
13回	自己分析4		自己分析のプレゼンテーション				
14回	まとめ		適性を知り、3年後の目標を決める				
15回	模擬試験		就職筆記模擬試験を受けて苦手分野を理解する				